

貧困対策

子ども食堂の早期開設
児童扶養手当の毎月支給を！

大久保 忠
(日本共産党)

- 問** 子ども食堂は貧困家庭や親の帰宅が遅い子どもたちに無料や低額で食事や居場所を提供するもので、全国2286カ所、埼玉83カ所にある。貧困の広がる中、急速に増え、市としても設置すべきではないか。
- 答** 重要な共食の確保や居場所の提供など大変意義があるもので、市は複数の団体から実施予定と聞いている。
- 問** 全国調査をした子ども食堂安心・安全向上委員会が子どもの貧困を考えた場合1小学校区に1カ所開設と訴えているが、一つの考え方として理解できる。
- 問** 羽生熊合鴻巣の近隣市はすでに実施しているが、本市ではいつ開設か。
- 答** 1団体は8月に1回目を実施する。
- 問** 県の基金の周知とあわせ市独自の助成をしてはどうか。
- 答** 助成をしている市もあるが自主運営が多い。
- 児童扶養手当の毎月支給を
- 問** 貧困が深刻となる中、ひとり親家庭に支給されている。昨年6月にも質問したが年3回のまとめ支給ではやりくりが難しく支給回数が増加、毎月支給にという願いは強い。実施すべきではないか。
- 答** 今国会で法律が改正され、平成31年11月から年6回の支給となる。
- 問** 手当の目的はひとり親家庭の生活を支えることとであり、子どもの生活を安定させるためにも、毎月支給する考えは。
- 答** 毎月支給できるのが理想と考えるが国の年6回という制度で対応。
- その他の主な質問
- 旧忍町信用組合店舗における計画の一貫性の無さや子どもの安全対策

市長の政治姿勢

ごみ処理施設建設は
行田市民の利益か

石井 直彦
(発言と行動する会)

- 問** ごみ施設予定地について、選定過程が不透明、初めから予定地ありきで選定が行われたとして5月29日の東京新聞に掲載された。組合では3回の全員協議会を開催したが疑惑が深くなっている。臨時議会では百条委員会の設置や再調査を求める議案は否決。真相は聞かず。工藤市長への報告内容と問題点は何か。
- 答** 候補地選定を巡る一連の問題は組合の構成市として遺憾である。誤解を受けないよう事業を進めてもらいたい。
- 問** 市長の言う不適切な部分とはどの部分か。
- 答** 候補地を53カ所から52カ所に変更したこと。
- 問** 隠した原因は。
- 答** 選定委員会が決定。
- 問** 工事単価について市長は判断したか。
- 答** 検討委員会が最適地を選定した。
- 問** それについて、市長は疑問を感じなかったか。
- 答** 選定過程において不適切な部分があったが委員会が最適地を選定した。
- 問** 不適切な部分の再調査は依頼しないのか。
- 答** 組合で決定すること。
- 問** 組合任せで、白紙委任しているのか。
- 答** 再調査を求める決議は組合議会で否決された。
- 問** 行田市の組合議員は5人中2人が再調査を求めている。市長の考えは。
- 答** 制度的に組合が決定。
- 問** 3市による広域の中で建設地は真ん中の鴻巣市と決定したが、小針の土地は考えたか。
- 答** 北本から行田は遠いため中間点で話が進んだ。
- 問** 現在の事務手続きはほとんど鴻巣市が中心だが、行田市の意向や意見は反映しているか。
- 答** 広域化で行う上で適正な手続きと考えている。

福祉行政

介護保険料値上がり
市の対策を

梁瀬 里司
(黎明21)

- 問** 本年4月より、多くの自治体で介護保険料が値上がりになった。本市でも同様に値上がりになったが、要因は何か。
- 答** サービス給付費等の増額に対する第1号被保険者保険料の財政負担割合の引き上げや高齢者人口の増加に伴うサービス給付費の伸び、更に介護報酬改定や平成31年に予定されている消費税の引き上げを見込んでいる。
- 問** 介護保険料の値上げに伴う、市の対策・対応はどうか。
- 答** サービス給付費等を適正に見込むとともに、介護給付費等準備基金のほぼ全額である2億7千万円を取り崩し、財源に充てることを想定し、保険料上昇の抑制に努めた。また、介護予防、重度化防止の取り組みの充実に努めていく。
- 子ども食堂の設置
- 問** 子ども食堂は、全国に2千カ所以上、100万人以上が利用している。子どもの食事や居場所への支援策として本市にも設置が必要と考えるが、市の対策・対応はどうか。
- 答** 現在複数の民間団体から子ども食堂を実施予定と伺っている。また、支援については他市の事例を参考に、今後調査研究していく。
- その他の主な質問
- 学校への電子黒板・ホワイトボードの導入
- 学習支援策
- 子どもスマホ対策
- 鯉のぼりを泳がせるイベント
- 花の名所づくり

